



申
30
号



川越線指扇・南古谷間デッドロック発生 に関する緊急申し入れ

申し入れ項目

3月8日 提出!

- 1.川越線指扇駅・南古谷駅間の単線運転区間において、下り2081Sと上り2188Kがデッドロックとなる事象に対する見解を直ちに示すこと。
- 2.指扇駅・南古谷駅間の交換駅変更を入力した際に、下り2081Sに対する指扇駅出発信号機と上り2188Kに対する南古谷駅第1、2出発信号機を同時に制御する状態が発生しデッドロックとなった原因を究明すること。また、再発防止に向け、背後要因を分析し、システムや人間の注意力のみに頼ることのない恒久対策を講じること。
- 3.今事象に対する原因が究明されるまで単線区間における交換駅変更は、原則実施しないこと。

平常時にはシステムに基づき運行確保が行われています。しかし昨今、異常時において人間とシステム・機械化等との融合が上手く回れないことにより、事象に至ってしまった事例が多くあります。このことは近年の課題と言えます。

システムによる運行管理に過信することがあってはなりません。安全を司る最後の砦は“ひと”であり、教育や要員体制が脆弱となっていることに輸送サービス労組は強い危機感を抱いています!

システム化の一方で、教育体制や異常時対応など

“ひと”の力を軽視することがあってはならない!

安全を最優先に、徹底した原因究明と再発防止が求められる!